

無線アクセスポイント
DAP-2690/N
セットアップマニュアル

2012年9月

エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社

1. セットアップの前に	… 2
2. 付属品の取り付けおよび接続	… 3
3. 起動確認	… 4
4. パソコン設定(無線)	… 5
5. 無線アクセスポイントへの接続	… 6
5.1 無線アクセスポイントへのログイン方法	… 6
5.2 無線アクセスポイントからのログアウト方法	… 6
5.3 無線アクセスポイント設定の有効化方法	… 6
6. 無線アクセスポイントの設定変更	… 7
6.1 無線アクセスポイントへのログイン名、ログインパスワードの変更	… 7
6.2 無線設定の変更	… 8
6.3 LAN設定	… 10
6.4 MACアドレスフィルタリング設定	… 11
7. 状態(ステータス)確認	… 12
(参考)安全にお使いいただくために	… 13

1. セットアップの前に

本製品を設置するために必要なものを準備します。

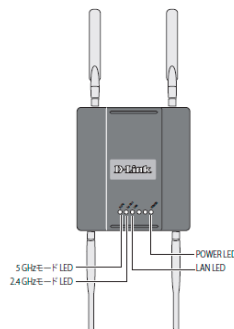
本製品に同梱されているもの

< 設置に必須のもの >

- ・本体 x 1
- ・アンテナ (2.4GHz用) x 2
- ・アンテナ (5GHz用) x 2
- ・AC アダプタ x 1
- ・電源ケーブル x 1
- ・LAN ケーブル(3m) x 1
- ・お申し込み内容のご案内 x 1

< オプションで利用するもの >

- ・電源変換コネクタ x 1
- ・ウォールマウントキット x 1
- ・PoE アダプタ x 1
- ・クイックインストールガイド x 1
- ・CD-ROM x 1



本体



アンテナ
(2.4GHz用)



アンテナ
(5GHz用)



お申し込み内容の
ご案内

お客様に準備いただくもの



パソコン
無線LAN対応PC

プロバイダ・・・

アカウント

パスワード

プロバイダに関する資料
(他社プロバイダ申し込みの場合)

2. 付属品の取り付けおよび接続

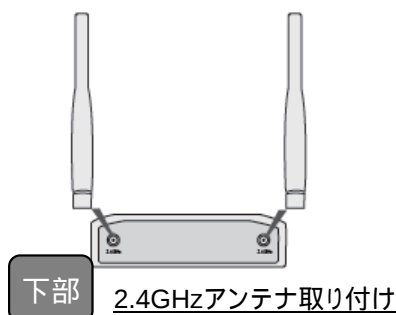
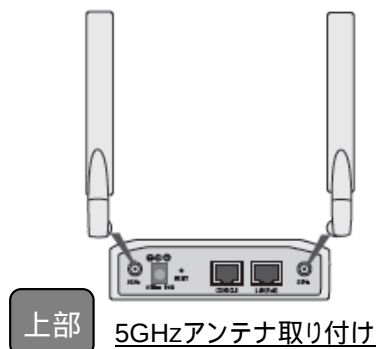
本製品を設置するために付属品を取り付けます。

■ アンテナを取り付けます

5GHzアンテナを本体上部、2.4GHzアンテナを本体下部に2本ずつ取り付けます。取り付けの際はアンテナを折り曲げずに本体のアンテナ結合部に接続し、右回りに締め付けます。

2.4GHzアンテナと5GHzアンテナの形状が異なります。アンテナの誤接続にご注意下さい。

取り付け後にアンテナを折り曲げます。



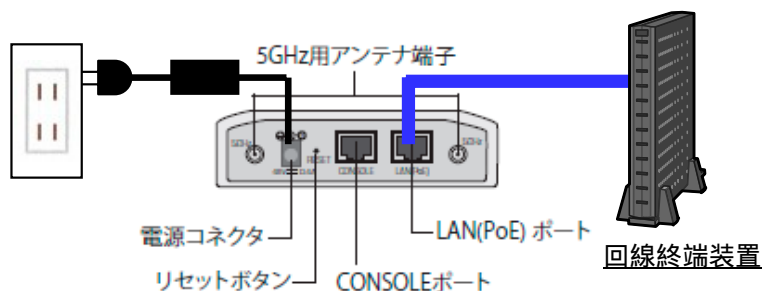
■ LANケーブルを接続します

付属のLANケーブルを用いてアクセスポイントとホームゲートウェイ/ONU/CTUなどの回線終端装置を接続します。

■ 電源ケーブルを接続します

ACアダプタと電源ケーブル、およびACアダプタと電源コネクタに接続し、電源コンセントに接続します。

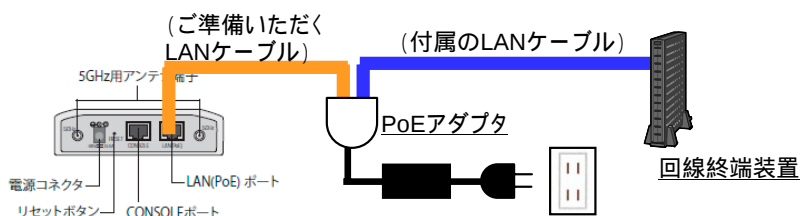
(接地極付コンセント、電源タップ等がご準備できない場合、添付の電源変換コネクタを利用し、接続下さい。)



ウォールマウントキットによる壁面への設置を希望されるお客様については添付のCD-ROM内ユーザマニュアルを参照の上、設置してください。

(参考) PoEアダプタによる接続について

本製品については、PoEアダプタによる電源供給が可能です。PoEアダプタを用いた接続構成を以下に示します。

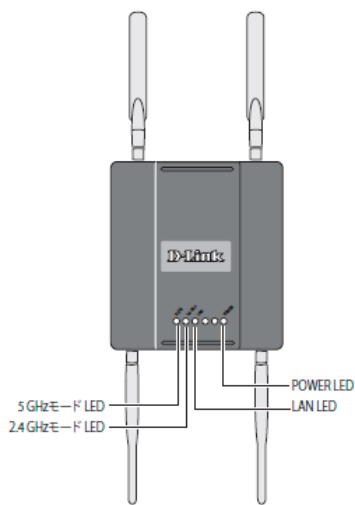


	ポート名
	P+DATA OUT
	DATA IN
	POWER IN

3 . 起動確認

本製品を起動し、正常に動作しているか確認します。

■ 起動確認



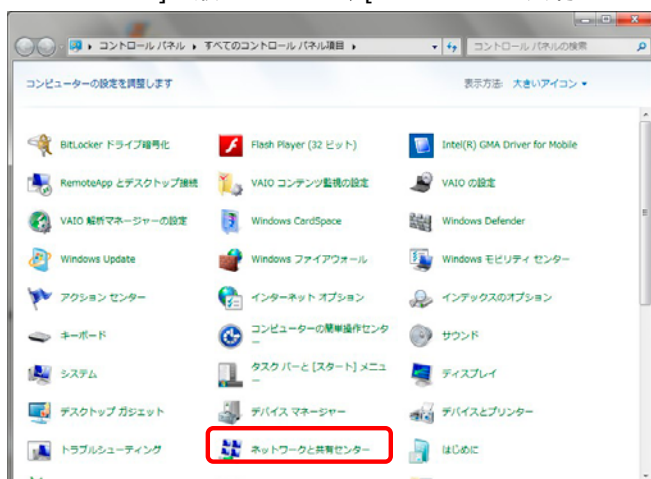
LED	色	状態	状態説明
POWER	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
		点滅	本製品が起動中です。
5GHz	緑	点灯	無線LAN による通信が可能な状態です。
		点滅	無線LAN によりデータを送受信しています。
2.4GHz	緑	点灯	無線LAN による通信が可能な状態です。
		点滅	無線LAN によりデータを送受信しています。
LAN	緑	点灯	ネットワークにリンクしています。
		点滅	ネットワーク上でデータを送受信しています。
	-	消灯	リンクが確立していません。

電源投入後、POWERランプが点灯、5GHz・2.4GHz・LANランプが点灯または点滅していることをご確認下さい。

4. パソコン設定(無線)

本アクセスポイントに接続するパソコンの設定を行います。ここではWindows7での設定画面を例としています。

1. [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックし、[ネットワークと共有センター]をクリックします。



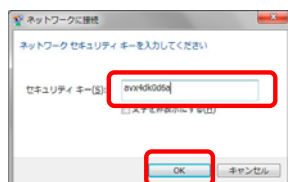
2. [ネットワークに接続]をクリックします。



3. [DoSPOT-OWNER]を選択し、[接続]をクリックします。



4. お申し込み内容のご案内に記載したSSIDパスワードを「セキュリティキー」に入力し、[OK]をクリックします。
(例: セキュリティキーが「avx4dk0d6a」の場合)



5. ネットワークに接続されたことをご確認ください。



6. Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動し、ホームページが閲覧できることを確認します。

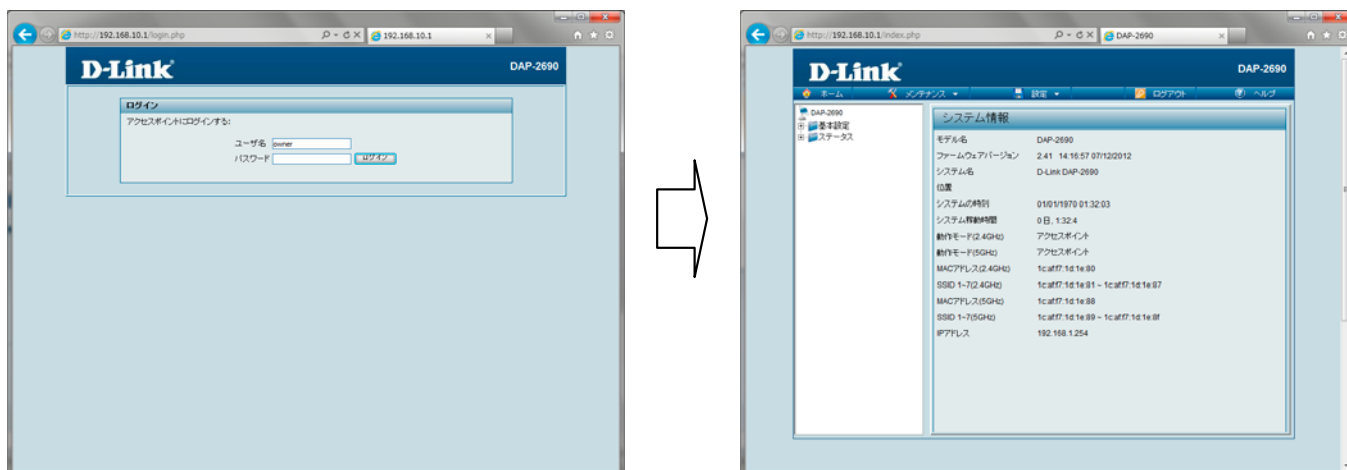
5. 無線アクセスポイントへの接続

本アクセスポイントの設定や状態確認はパソコンから行います。無線アクセスポイントへの設定等の際に、基本的な操作方法を以下に記載します。ここではWindows7での設定画面を例としています。

5.1 無線アクセスポイントへのログイン方法

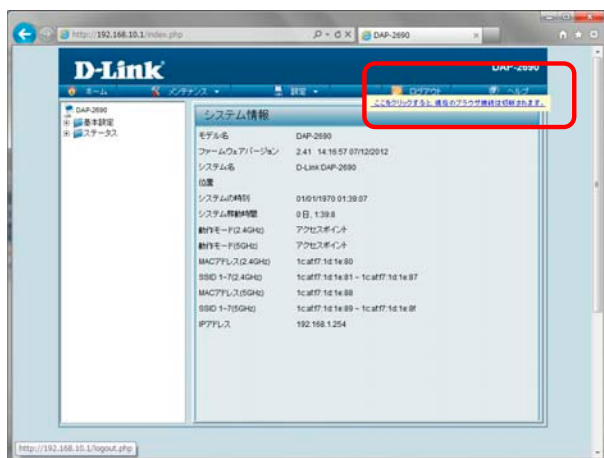
本アクセスポイントにて各種設定変更、状態確認が行えます。以下ではその手順を記載します。

1. ネットワークに接続していることをご確認下さい。
2. Webブラウザを立ち上げ、URLに「<http://192.168.10.254/>」を入力しアクセスしてください。
3. ユーザ名を「owner」とし、パスワード欄には何も入力せずに「ログイン」ボタンを押して下さい(左図)。ログイン後、右図の画面が表示されます。



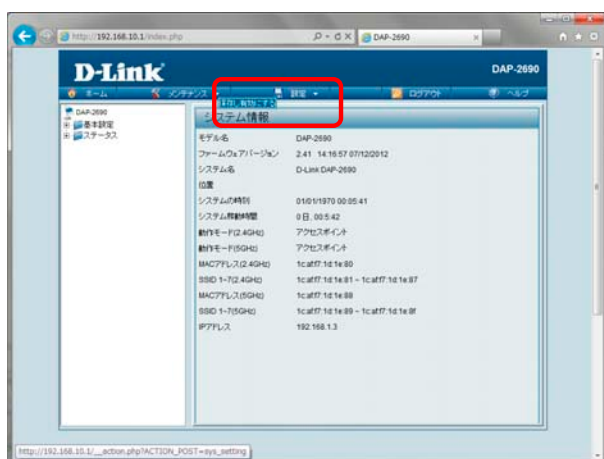
5.2 無線アクセスポイントからのログアウト方法

無線アクセスポイントからログアウトする場合は、「ログアウト」 - 「ここをクリックすると、現在のブラウザ接続は切断されます。」ボタンを押してログアウトして下さい。



5.3 無線アクセスポイント設定の有効化方法

無線アクセスポイントの設定を有効化する場合、**「設定」 - 「保存し有効にする」**ボタンを押して下さい。自動的に再起動が行われ、設定が反映されます。



6. 無線アクセスポイントの設定変更

無線アクセスポイントの設定を変更することができます。設定変更できる項目は以下の通りです。

- ログイン名、パスワードの変更
- 無線設定の変更
- 無線アクセスにおけるMACアドレスフィルタリング設定

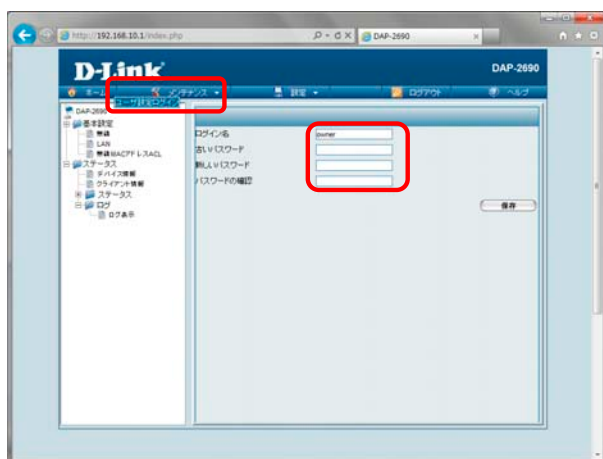
以下では、各項目の変更方法を記載します。

なお、各項目においては無線アクセスポイントへのログインが必要になります。ログイン方法は5章をご参照下さい。

初期設定から変更された場合は、変更後のIPアドレス、ユーザ名、パスワードを入力して下さい。

6.1 無線アクセスポイントへのログイン名、ログインパスワードの変更

「メンテナンス」-「ユーザ設定ログイン」を押し、ログイン名(変更する場合は変更後のログイン名)、現在のパスワードを「古いパスワード」に、変更後のパスワードを「新しいパスワード」および「パスワードの確認」に入力し、保存ボタンを押してください。



6. 無線アクセスポイントの設定変更

6.2 無線設定の変更

「基本設定」-「無線」にて無線設定を変更することができます。各設定項目は以下の通りです。
設定変更後、最下部にある「保存」ボタンを押し、保存してください。(注1)



項目	説明
無線帯域	「2.4GHz」または「5GHz」を選択します。(注1)
アプリケーション	無線帯域を「5GHz」に選択した場合は「11a/nを有効(屋外不可:W52/W53/W56)」のみを選択できます。
モード	「アクセスポイント」モードを選択します。
ネットワーク名(SSID)	SSID(Service Set Identifier)は無線LAN グループに割り当てる識別名です。SSIDを入力すると、既存または新規の無線LAN への登録を簡単に行うことができます。最大32文字以内で、大文字と小文字を区別します。初期値は「DoSPOT-OWNER」です。
SSIDの可視化	SSIDの表示を「有効(初期値)」または「無効」にします。有効にするとSSIDがネットワーク上にブロードキャストされ、他のすべてのネットワークユーザから閲覧できるようになります。
自動チャンネル選択	「有効」にすると最適なパフォーマンスを得るために自動的にチャンネルの選択を行います。初期設定は「有効」です。チャンネル選択は本製品が起動している時に行われます。「無効」にすると、「チャンネル」でチャンネル番号を指定します。
チャンネル	同一ネットワーク上のすべての無線LAN端末は同じチャンネルを使用します。チャンネルを指定する場合は、「自動チャンネル選択」を無効にしてからプルダウンメニューでチャンネルを選択します。 無線LAN端末は自動的にチャンネル検索を行い、無線設定を合わせます。
チャンネル幅	運用するチャンネル帯域を選択します。 ・20MHz - 802.11n 無線クライアントを使用していない場合に選択します。 ・Auto 20/40 MHz - 802.11n と802.11n でない無線デバイスの両方を使用している場合に選択します。
認証	認証方式を選択します。 ・オープンシステム - オープンシステム認証を行い、ネットワーク側での認証を行いません。 ・WPA-パーソナル - パスワードと認証キーの自動変更機能でセキュリティを提供します。RADIUS サーバは必要ありません。(初期値) ・WPA-エンタープライズ、802.1X - この認証方式は選択しないで下さい。 オープンシステムを選択した場合にWEPを選択することが可能となります。
ワイヤレスパーティション	ワイヤレスパーティションの有効/無効を選択します。 ・有効 - 無線ステーションはアクセスポイントを介した通信が行えなくなります。 ・無効 - 無線ステーションはアクセスポイントを介して他の無線ステーションと通信できます。(初期値)
最大クライアント	無線ステーション数の制限の有効/無効を選択します。 ・有効 - 無線ステーション数を制限します。(初期値) ・無効 - 無線ステーション数を制限しません。
最大クライアント数	ワイヤレスパーティションを「有効」に選択した場合に1～20の範囲で無線ステーション数を指定します。
IPアドレス	SSIDのIPアドレスを指定します。初期値は192.168.10.254です。(注2)
サブネットマスク	SSIDのサブネットマスクを指定します。初期値は255.255.255.0です。

(注1) 2.4GHzの設定と5GHzの設定は独立しています。2.4GHzの設定を変更した場合でも5GHzの設定が自動的に変更されるわけではありません。

(注2) 現在利用中のIPアドレス帯と重複しないように設定願います。

なお、ホームゲートウェイの初期アドレス帯は192.168.1.1～254、CTUの初期アドレス帯は192.168.24.1～254です。

6. 無線アクセスポイントの設定変更

The screenshot shows a web browser window with the URL `http://192.168.10.1/index.php`. The page title is 'DAP-2690'. The interface is divided into several sections:

- DHCPリレー**: A dropdown menu set to 'リレー' (Relay).
- IPプール**: A text input field showing '192.168.10.11 ~ 192.168.10.50'.
- サブネットマスク**: A text input field showing '255.255.255.0' with a note '(マスクの前に設定します。)'.
- ゲートウェイ**: A text input field showing '192.168.10.1' with a note '(IP アドレスの前に設定。)'.
- リース時間**: A text input field showing '604800' with a unit 'sec'.
- DNS**: Radio buttons for 'マニュアル(手動)' and '自動', with '自動' selected.
- DNS1** and **DNS2**: Text input fields for DNS server addresses.
- MAC認証設定**: A section with two sub-sections:
 - プライマリMAC認証設定**: Includes 'MAC認証モード' (set to '無効'), 'MAC認証サーバー' (text input), and 'MAC認証ポート' (set to '1812').
 - セカンダリMAC認証設定(オプション)**: Includes 'MAC認証サーバー' (text input) and 'MAC認証ポート' (set to '1812').
- WPAモード**: A dropdown menu set to '自動(WPAまたはWPA2)'.
- 暗号化タイプ**: Radio buttons for 'マニュアル' and '自動', with '自動' selected.
- グループキー更新間隔**: A text input field showing '1800' with a unit '(秒)'.
- アクティベートフォーム**: A dropdown menu set to '日時'.
- 時間間隔**: A text input field showing '1' with a unit '(1~168)時間'.
- パスフレーズ**: A text input field with masked characters '*****'.
- パスフレーズ(確認用)**: A text input field with masked characters '*****'.

A '保存' (Save) button is located at the bottom right of the form.

項目	説明
DHCP	運用するモードを選択します。 ・サーバー - アクセスポイントをDHCPサーバとして利用する場合に選択します。(初期値) ・リレー - アクセスポイントをDHCPリレーとして利用する場合に選択します。
DHCPリレー	DHCPを「リレー」に選択した場合に、リレーするDHCPサーバのIPアドレスを指定します。(注1)
IPプール	DHCPを「サーバー」に選択した場合に、DHCPクライアントに払い出す開始IPアドレスを終了IPアドレスを指定します。(注2)
サブネットマスク	DHCPを「サーバー」に選択した場合に、SSIDのサブネットマスクが表示されます。
ゲートウェイ	DHCPを「サーバー」に選択した場合に、SSIDのIPアドレスが表示されます。
リース時間	DHCPを「サーバー」に選択した場合に、DHCPクライアントに新しいIPアドレスを払い出すまでの秒数(リース期間)を入力します。初期値は604800秒です。
DNS	DHCPを「サーバー」に選択した場合に、DHCPクライアントにどのようにDNSサーバのIPアドレスを払い出すのか選択します。 ・手動 - 任意のDNSサーバのIPアドレスを払い出します。 ・自動 - 上位サーバ等から自動で取得したDNSサーバのIPアドレスを払い出します。
DNS1	DNSを「手動」に選択した場合に、任意のプライマリDNSサーバのIPアドレスを指定します。(注3)
DNS2	DNSを「手動」に選択した場合に、任意のセカンダリDNSサーバのIPアドレスを指定します。(注3)
WPAモード	認証タイプに「WPA-Personal」を選択した場合は、プルダウンメニューからWPAのモードを指定します。「AUTO(WPA or WPA2)」、「WPA2 Only」または「WPA Only」から指定します。WPAとWPA2は異なるアルゴリズムを使用しています。 「AUTO(WPA or WPA2)」を指定するとWPAとWPA2の両方を使用することができます。
暗号化タイプ	「WPA-Personal」を指定した場合に暗号化タイプ(「Auto(初期値)」、「AES」または「TKIP」)を選択します。
グループキー更新間隔	グループキーを更新する間隔を設定します。1800(秒)を推奨します。短い時間を設定すると、通信速度が遅くなります。
パスフレーズ	「Authentication」に「WPA-Personal」、「WPA2-Personal」、「WPA-Auto-Personal」を指定した場合、パスフレーズ(=セキュリティキー)を入力します。
パスフレーズ(確認用)	確認のため、パスフレーズ(=セキュリティキー)を再度入力します。

MAC認証設定は対応予定の機能ですのでデフォルト状態から設定を変更しないで下さい。

(注1) DHCPにて「サーバー」を選択した場合は設定できません。

(注2) 現在利用中のIPアドレス帯と重複しないように設定願います。

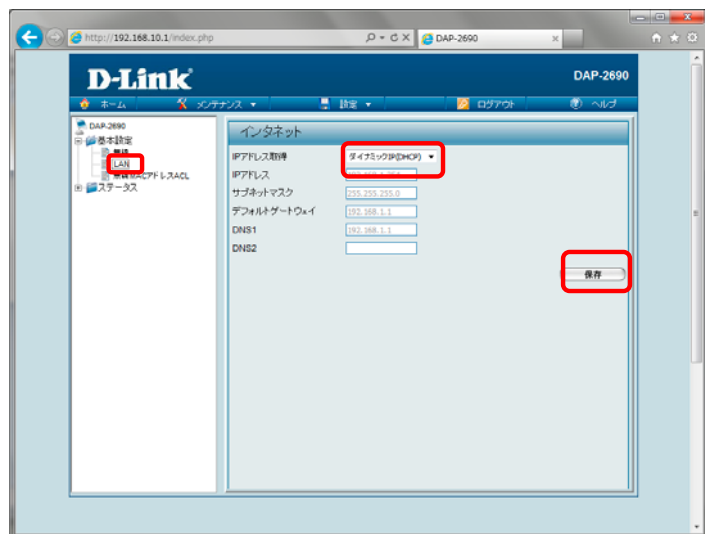
なお、ホームゲートウェイの初期アドレス帯は192.168.1.1 ~ 254、CTUの初期アドレス帯は192.168.24.1 ~ 254です。

(注3) DNSにて「自動」を選択した場合には設定できません。

6. 無線アクセスポイントの設定変更

6.3 LAN設定

「基本設定」 - 「LAN」にて有線LANの設定を変更することができます。
各設定項目は以下の通りです。最下部にある「保存」ボタンにて保存して下さい。

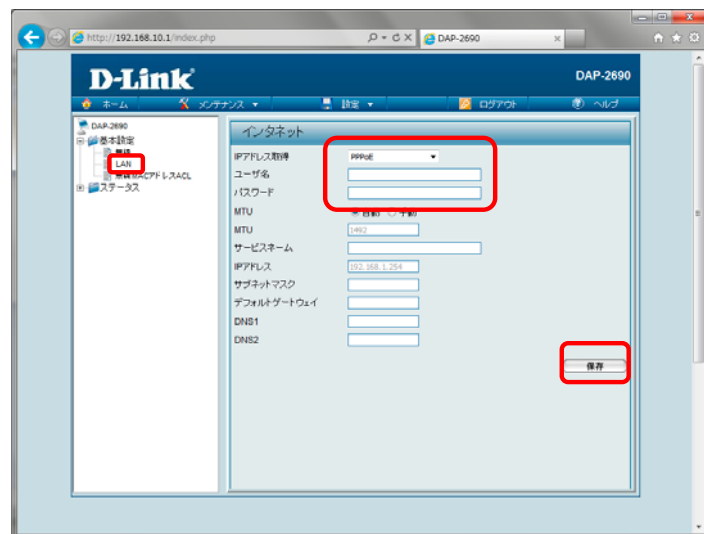


HGWやCTUなどルータ機器の配下に設置する場合は
IPアドレス取得を「**ダイナミックIP(DHCP)**」とします。

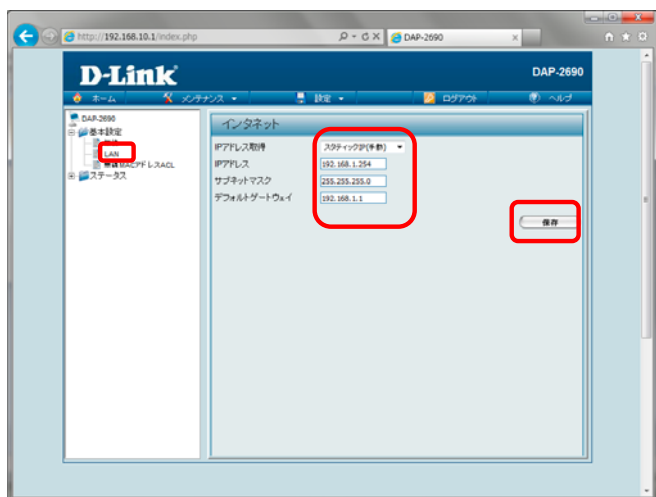
(HGWありの出荷時状態)

変更後、「**保存**」ボタンを押します。

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、
DNS1、DNS2は入力できません。



ホームゲートウェイ等のルータ機能がない場合、本アクセスポイントからインターネット接続することができます。この場合、IPアドレス取得を「**PPPoE**」とします。(HGWなしの出荷時状態)
また同封の「開通に関するご案内」ないしはプロバイダに関する資料に記載のユーザ名、パスワードを「**ユーザ名**」、「**パスワード**」欄に入力し、「**保存**」ボタンを押して下さい。(プロバイダによりDNS等を手動で入力する必要がある場合は、「DNS1」、「DNS2」等に入力願います。)



すでにLANを構築済みで静的IPアドレス環境にて運用されている方についてはIPアドレス取得を「**スタティックIP(手動)**」とし、
固定IPアドレスを割り振ることが可能です。

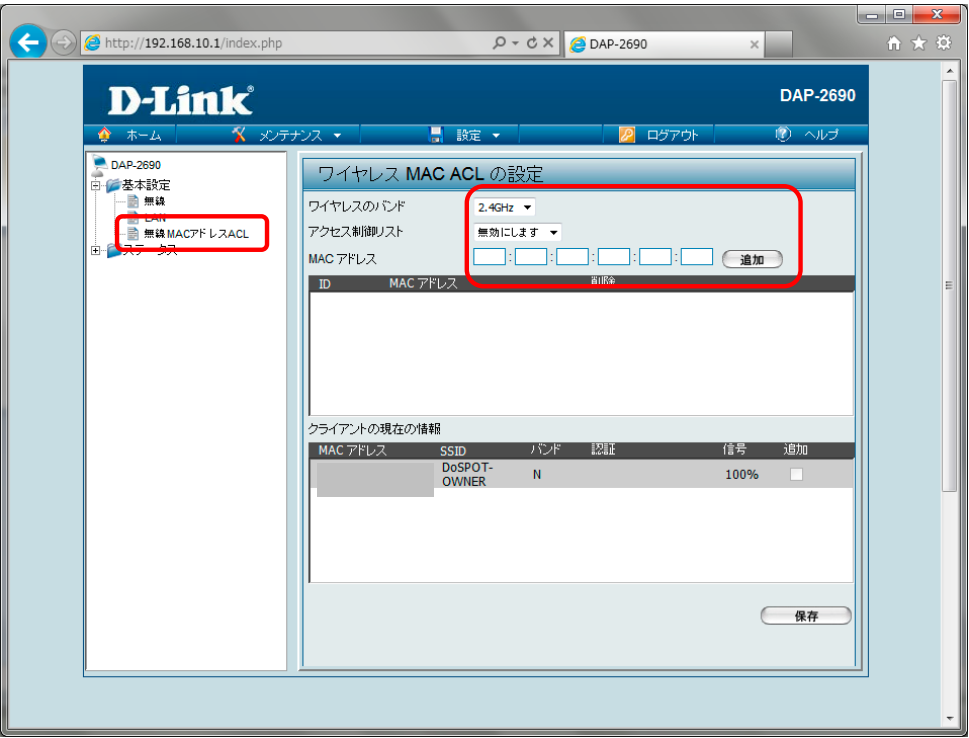
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイに必要な
情報を入力の上、「**保存**」ボタンを押します。

なお、DNS1、DNS2については、「基本設定」 - 「無線」の
DNS設定にて「マニュアル(自動)」を選択し、「DNS1」および
「DNS2」設定に情報を入力願います。(無線設定は2.4GHz、
5GHzと異なるため、それぞれの無線帯域に設定が必要になります。)

6 . 無線アクセスポイントの設定変更

6 . 4 MACアドレスフィルタリング

「基本設定」 - 「無線MACアドレスACL」にて無線MACアドレス設定を変更することができます。
各設定項目は以下の通りです。最下部にある「保存」ボタンにて保存して下さい。



項目	説明
ワイヤレスのバンド	「2.4GHz」または「5GHz」を選択します。
アクセス制御リスト	「無効にします」、「受け入れる」、「拒否」を選択します。
MACアドレス	制御したいIMACアドレスを入力します。

7. 状態 (ステータス) 確認

無線アクセスポイントの状態 (ステータス)を確認することができます。状態確認できる項目は以下の通りです。

- デバイス情報 (イーサネットアドレス、無線設定情報を参照できます)
- 接続クライアント情報 (アクセスしている無線端末の情報を参照できます)
- 各種ステータス
 - イーサネット (LANポートの送受信パケット数を参照できます)
 - 無線LAN (2.4GHz、5GHzごとの送受信パケット数を参照できます)
 - VPN (センタと通信できているか参照できます)
 - PPPoE (無線アクセスポイントでインターネット接続している場合にプロバイダ情報を参照できます)
- ログ

なお、各項目の確認においては、無線アクセスポイントへのログインが必要になります。ログイン方法は4章を参照下さい。

初期設定から変更された場合は、変更後のIPアドレス、ユーザ名、パスワードを入力下さい。

ログイン後、「ステータス」から各種情報を参照できます。



安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。」

安全上の注意

必ずお守り下さい

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

	警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
	警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行していただく「指示」の内容です。

警告

-  分解・改造をしない
分解禁止 機器が故障したり、異物が混入すると、やけどや火災の原因となります。
-  禁止
落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
故障の原因につながります。
-  禁止
発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない
感電、火災の原因になります。
使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなってから販売店に修理をご依頼してください。
-  ぬれた手でさわらない
ぬれ手禁止 感電のおそれがあります。
-  水をかけたり、ぬらしたりしない
水ぬれ禁止 内部に水が入ると、火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  禁止
油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、振動の激しいところでは使わない
火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  禁止
内部に金属物や燃えやすいものを入れない
火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  禁止
表示以外の電圧で使用しない
火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  禁止
たこ足配線禁止
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。
-  禁止
設置、移動のときは電源プラグを抜く
火災、感電、または故障のおそれがあります。

-  禁止
雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない
感電のおそれがあります。
-  禁止
ケーブル/コード類や端子を破損させない
無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障につながります。
-  禁止
正しい電源ケーブル、コンセントを使用する
火災、感電、または故障の原因となります。
-  禁止
乳幼児の手の届く場所では使わない
やけど、ケガ、または感電の原因になります。
-  禁止
次のような場所では保管、使用をしない
・直射日光のあたる場所
・高温になる場所
・動作環境範囲外
-  禁止
光源をのぞかない
光ファイバケーブルの断面、コネクタ、および製品のコネクタをのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

注意

-  静電気注意
コネクタやプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。
-  注意
コードを持って抜かない
コードを無理に曲げたり、引っ張りますと、コードや機器の破損の原因となります。
-  注意
振動が発生する場所では使用しない
接触不良や動作不良の原因となります。
-  禁止
付属品の使用は取扱説明書にしたがう
付属品は取扱説明書にしたがい、他の製品には使用しないでください。機器の破損の原因になります。

電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書の記載に従って正しい取り扱いをしてください。

無線に関するご注意

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線製品として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品の使用する上で、無線局の免許は必要ありません。

本製品は、日本国内でのみ使用できます。

以下の注意をよくお読みになりご使用ください。

この機器を以下の場所では使用しないでください。

- ・心臓ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近くで使用すると電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)
- ・電子レンジの近くで使用すると、電子レンジによって無線通信に電磁妨害が発生します。

本製品は技術基準適合証明を受けています。本製品の分解、改造、および裏面の製品ラベルをはがさないでください。

5GHz 帯使用の無線機器に関するご注意

電波法により、5GHz 帯(IEEE 802.11a)は屋外での使用が禁止されています(W56を除く)。

従来の中心周波数(J52)を使用した機器とは通信チャンネルが異なるために通信できません。

5GHz 帯のW53/W56 使用時は気象レーダー等との電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する場合があります。(DFS 機能)

2.4GHz 帯使用の無線機器の電波干渉に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用している移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の送出を停止してください。

その他、この機器から移動体通信用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	DS-SS 方式/OFDM 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

無線LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- ・ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- ・メールの内容

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下の行為を行う可能性があります。

- ・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- ・コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- 保守マーク表示を守ってください。また、ドキュメント類に説明されている以外の方でのご使用はやめてください。三角形の中に稲妻マークがついたカバー類をあけたり外したりすると、感電の危険性を招きます。筐体の内部は、訓練を受けた保守技術員が取り扱うようにしてください。
- 以下のような状況に陥った場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いて、部品の交換をするかサービス会社に連絡してください。
 - 電源ケーブル、延長ケーブル、またはプラグが破損した。
 - 製品の中に異物が入った。
 - 製品に水がかかった。
 - 製品が落下した、または損傷を受けた。
 - 操作方法に従って運用しているのに正しく動作しない。
- 本製品をラジエータや熱源の近くに置かないでください。また冷却用通気孔を塞がないようにしてください。
- 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。万一製品が濡れてしまった場合は、トラブルシューティングガイドの該当する文をお読みになるか、サービス会社に連絡してください。
- 本システムの開口部に物を差し込まないでください。内部コンポーネントのショートによる火事や感電を引き起こすことがあります。
- 本製品と一緒にその他のデバイスを使用する場合は、弊社の認定を受けたデバイスを使用してください。
- カバーを外す際、あるいは内部コンポーネントに触れる際は、製品の温度が十分に下がってから行ってください。
- 電気定格ラベル標記と合致したタイプの外部電源を使用してください。正しい外部電源タイプがわからない場合は、サービス会社、あるいはお近くの電力会社にお問い合わせください。
- システムの損傷を防ぐために、電源装置の電圧選択スイッチ (装備されている場合のみ) がご利用の地域の設定と合致しているか確認してください。
 - 東日本では100V/50Hz、西日本では100V/60Hz
- また、付属するデバイスが、ご使用になる地域の電気定格に合致しているか確認してください。
- 付属の電源ケーブルのみを使用してください。
- 感電を防止するために、本システムと周辺装置の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。このケーブルには、正しく接地されるように、3 ピンプラグが取り付けられています。アダプタプラグを使用したり、ケーブルから接地ピンを取り外したりしないでください。延長コードを使用する必要がある場合は、正しく接地されたプラグが付いている3 線式コードを使用してください。
- 延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは電源分岐回路の定格アンペア限界の8 割を超えないことを確認してください。
- 一時的に急激に起こる電力の変動からシステムコンポーネントを保護するには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置 (UPS) を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたりつまずいたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- 電源ケーブルやプラグを改造しないでください。設置場所の変更をする場合は、資格を持った電気技術者または電力会社にお問い合わせください。国または地方自治体の配線規則に必ず従ってください。
- システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
 - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
 - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
 - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いてください。
- 製品の移動は気をつけて行ってください。キャストやスタビライザがしっかり装着されているか確認してください。急停止や、凹凸面上の移動は避けてください。

静電気故障を防止するために

静電気は、システム内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、マイクロプロセッサなどの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。シャーシの塗装されていない金属面に定期的に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

さらに、静電気放出(ESD)による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 静電気に敏感なコンポーネントを箱から取り出す時は、コンポーネントをシステムに取り付ける準備が完了するまで、コンポーネントを静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃してください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
3. 静電気に敏感なコンポーネントの取り扱い、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

バッテリーの取り扱いについて

警告

不適切なバッテリーの使用により、爆発などの危険性が生じることがあります。バッテリーの交換は、必ず同じものか、製造者が推奨する同等の仕様のものをご使用ください。バッテリーの廃棄については、製造者の指示に従って行ってください。

電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

本製品には電源ケーブル抜け防止金具が同梱されています。本製品を製品背面の電源コネクタ部分に取り付けます。電源ケーブルを接続して金具に固定すると、ケーブルの抜けを防止することができます。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、設置マニュアル、および同梱されている製品保証書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

- 本書および同梱されている製品保証書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品を日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。